

キャリア教育読本「おしごと年鑑」に当協会コンテンツを掲載

当協会は、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていただくよう、商船や海事施設等の見学会や授業への協力、資料提供等を実施しております。

今般、株式会社朝日新聞社が発行する「おしごと年鑑 2022」に「貿易量の99%以上を船が運んでいるのはどうして？」をテーマとし、何故日本の貿易では海運が活躍しているか、一度に船がどれくらいの量を運べるか等について、イラストや写真を用いて分かりやすく紹介したコンテンツを掲載しました。また、同内容はWeb版「おしごとはくぶつかん」でも公開されております。

「おしごと年鑑」は、全国の小・中学校 約3万校に配布され、教育コンテンツ配信サービス「EduMall」でも無料で配信され、約450自治体7,500校で利用可能となっております。

今後同コンテンツも活用しながら、より多くの方に海運の役割や重要性について知っていただけるよう、取り組みを進めてまいります。

<おしごとはくぶつかん> <https://oshihaku.jp/nenkan/page/14640451>

貿易量の99%以上を船が運んでいるのはどうして?

船に乗る仕事 物の運ぶ仕事 世界とつながる仕事

JSA 一般社団法人 日本船主協会

日本は海に囲まれた島国のため、多くの船との間で船を使って輸送しています。世界とつながる海でどんな物が運ばれてくるのか、日本船主協会に教えてもらいました。

A 船は物を大船に、安価で運ぶことができる。とても効率的な輸送手段なんだ。

貿易量の割合

航空機	0.4%
トラック	0.4%
鉄道	0.4%
船舶	99.6%

UNG 船 約100万1千トン (11月1日現在)

【例】同じ2万トンでも、船や飛行機での運ぶ量は異なります。トラックや飛行機は1台あたり10トン、船は1隻あたり100トン以上を運ぶことができます。

世界のさまざまな国から日本に食料や日用品、そして資源やガスなどが輸入されています。また、日本で製造した自動車や半導体や電子部品なども世界中に輸出されていく。その輸送の手段として船も多く使われているのはなぜか。

輸送タンカー 25万トン以上 (内10万トン) 原油を1日に運ぶ

自動車専用船 1隻あたり1,000台 (8,000台)

日本の自動車産業でも船は重要な役割を果たしています。それは船積品で運ぶるのには船が最も効率的です。自家消費だけでなく、天候のトラックやバス、電車の運送にも使われます。

一度に2万個ものコンテナを運びます (20PFコンテナの場合)

コンテナ船 コナアの船や大きさは船舶的に統一

コンテナの形や大きさは船舶的に統一されていることで、船の積込みや積み下ろしは非常に効率的です。

積の輸送手段だと、こんなに必要!

トラック	1,800台
貨物列車	8,000両
10トントラック	20,000台

コンテナ船は、積の輸送手段として、トラックや貨物列車よりも、積の輸送能力が非常に高いです。

私たちが船で運ばれている物にかまけています

生果・野菜	100%
石炭	99.6%
鉄鋼	99.7%
自動車	97.9%
紙	66.6%
繊維	66.6%
自動車部品	94%
エド	91.5%
紙	92.7%

もし船がなくなったらコンビニは...

コンビニは、船で運ばれている物にかまけています。もし船がなくなると、コンビニは大きなダメージを受けます。

船はみんなの暮らしや産業を支えています

船は日本の暮らしに欠かせないものを支えています。船は、私たちの暮らしを支えています。船は、私たちの暮らしを支えています。

一般社団法人 日本船主協会
企画部広報室 橋本 真さん